



卓 話

「盲導犬ユザとの生活－皆さんにお伝えしたい10の事」

盲導犬ユザのパートナー
水出 智津氏

私達視覚障害者が盲導犬との歩行を希望した場合、1頭目は4週間、2頭目以降も3～4週間の訓練を必要とする。この訓練期間は単に盲導犬の歩行のノウハウを学ぶだけでなく、訓練士からユーザーへの犬の気持ちの移行期間としても大切であり、かつ必要な日数なのだ、12年前の1頭目の盲導犬「グロリア」との訓練時に説明を受けた。



しかし私はユザとの訓練を、特別頼み込んでわずか10日で終らせて貰った。6才と5才の子供をおいて家をあけるのが容易ではなかったことに加え、2頭目の「ヴィブリナ」との訓練からまだ1年しか経っていなかった事もあり、3頭目なので短期間の訓練でも、後は自分で何とか出来るという自信もあった為である。初対面のユザは身体をくねらせ、尻尾をちぎれんばかりに振って私との出会いを喜んでくれた。「初めまして宜しくね」と挨拶するつもりでいたのに、「前にどこかでお会いした事があるかしら？」と私の第一声が変わってしまった程だった。そこでプラス思考の私は、ユザの明るさと人なつこさから、もう仲良くなれたのだと勝手に解釈し、訓練は1週間でも良かったかしらなどと思い乍ら、予定されたカリキュラムを順調にこなしていったのである。ところが訓練最終日に早々と事件は起こった。片道30分の行程で2度もユザのコントロールが出来なくなってしまったのである。1度目はバスに乗りたかったのだが、ユザは入口を通り越し、バスの進行方向と逆の方向へ歩き出してしまった。2度目はT字路を渡って右に曲がりたかったのに、Uターンしてしまった。原因はユザが向きを変えた時に、遠くで見守る訓練士さんの姿を見つけた為である。本来ならこれでテスト失格だが、3頭目だからということで、訓練をその日で終えてユザと一緒に帰宅した。しかしその後も事件は続いた。ユザは私と会った時と同じ様に誰にあっても全身で喜び、出先で「可愛いね」等と声を掛けられようものなら、仕事を忘れて擦り寄ってきたが、家では皆について歩きたがった。時がたつにつれ事態はさらに悪化し、排泄が上手いなくなり、

出かける前にはいくら頑張っても出ないと言っておき乍ら、歩き始めるとまもなく排泄。足取りも重く最寄の駅まで通常15分のところ30分かかかるようになった。それでもユザは、曲がり角で必ず立ち止まって教える事、安全に誘導する事等の盲導犬としての人務ならぬ犬務はしっかり果しているのだ、これ以上嫌われては大変だと思った私は、ついにユザが何をしても「NO」と言えなくなってしまったのである。食事を与えるのも私。外出の時も常に一緒なのだから、信頼関係は時の流れに委ねておけば自然に作られるという私の考えは、本当におろかだった。人様には「盲導犬はペットとしての犬とは違う」と盲導犬の説明をしておき乍ら、私自身がペットと同じに考えていたのだから、今思えば恥ずかしい限りだ。ユザとの生活を始めて2ヶ月が過ぎた頃、私は尻尾を振らないユザにハーネスを付け続ける訳にはいかないと訓練士さんに相談をした。もし手遅れだったらと心配顔の私に、訓練士さんからのアドバイスはたった1つであった。

「犬が何故群れで行動出来るか解りますか。ボスの命令を素直に聞く事が出来る生き物だからなのです。ボスに対しては実に従順で忠実です。だから盲導犬になれるのです。犬はあくまでも犬。極端な話、犬は大勢の人に可愛がられる必要はないのです。ボスはボスらしくきちんと命令を出し、一対一の信頼関係をしっかり作りなさい」

ユザが私のパートナーとなって2年半になる。辛い日々を超えて私とユザは1本の太い絆で結ばれた。遊んでいる時、くつろいでいる時、ユザの視線の先には必ず私がいるし、皆がいる。私以外の人が「さあ行こう」と言ってもユザは知らんぷりだが、私が言えば寝ていても、遊んでいても、大きく尻尾を振り乍ら走ってきて自分からハーネスに頭を潜らせる。そして駅へは12分で行ける様になった。「遅刻しそうな、急ごう」と声をかけると走り出す。私はユザに全幅の信頼を寄せているから、怖いところが笑顔で走る事が出来る。ここに来る迄には随分遠回りをしてしまったが、沢山の事を学んでユザと共に成長出来たと思う。先日駅のホームでの事。3人のおばさんが、ユザを見て「まあ、綺麗なワンちゃん」「賢そうねえ」等おしゃべりを始めた。これは珍しい事ではないが「毎日厳しくてストレスが一杯よね」「だから早死になんでしょう」等々本人を横に会話は続き、横にしながらその会話に加わる事も出来ず「それは違いますよ」と伝えられない事を残念に思う。

－皆様に盲導犬の事を少しでも知って頂ける為の
「盲導犬おもしろ三択クイズ」－

問1：日本で最初の盲導犬が誕生したのはいつ？

ア. 1977年 イ. 1967年 ウ. 1957年

正解 ウ（今年で50周年）

問2：アイメイトになるための訓練を始めるのはいつごろ？

ア. 生後2ヶ月頃から

イ. 1歳2ヶ月頃から

ウ. 2歳2ヶ月頃から

正解 イ

（それまでパピーウォーカーに愛情一杯で育ててもらおう）

問3：アイメイトは、目の見えない主人（使用者）に、
曲がり角や、段差、危険な場所などを教えてくれますが、
さて、どうやって教える？

ア. しっぽを大きく振って教える

イ. 立ち止まって教える

ウ. 鼻先で使用者のふとももをつついて教える

正解 イ（学習によって状況判断する）

問4：アイメイトに信号の色はわかる？

ア. 昼間はわかるが、夜はわからない

イ. 色の見分けは、できない

ウ. 赤と青はわかるが、黄色はわからない

正解 イ

（色の判断は出来ない為、耳で情報を集めて交通量と
流れの方向を判断する）

問5：アイメイトと乗り物（バス・電車・船・飛行機など）に
乗るとき、アイメイトの料金はどうなってる？

ア. アイメイト料金を支払う

イ. 料金はかからない

ウ. 子供料金を支払う

正解 イ（ユーザーと一身体と考える）

問6：アイメイトの食事は？

ア. 朝は肉料理、夜は野菜料理を作ってあげる

イ. 使用者が食事をするとき、必ずドッグフードをあげる

ウ. 決められた量のドッグフードを、1日1回又は
2回に分けてあげる

正解 ウ（他でむやみに好物に口を付けさせない為）

問7：アイメイトのトイレは？

ア. 朝・晩1日2回と決められている

イ. 人間と同じトイレでまたがってする

ウ. 外でする

正解 ウ（サインを出すと排泄する）

問8：アイメイトの食事やトイレなど、犬のお世話をするのはだれ？

ア. 犬が自分でする

イ. 目の見えない使用者がする

ウ. 目の見えない使用者では大変なので
家族やボランティアさんがする

正解 イ

（ユーザーが排泄のサインを出して後始末をする）

問9：アイメイトの部屋の中での仕事は何？

ア. 知らない人が来たら、ほえて教える

イ. 何もしない

ウ. 外が、暗くなったら、電気をつける

正解：イ（仕事外の時は休んでいる）

問10：アイメイトのリタイア（引退）の時期はいつ？

ア. アイメイトの体調をみて、使用者が決める

イ. リタイアの年齢が決まっている

ウ. 抜け毛の量が多くなったら

正解：ア（リタイア犬奉仕者の家庭で老後をおくる）